



株式会社 JALUX

Financial Results for the Year Ended March 31, 2017

2017年3月期 決算説明会

2017年5月26日

- I. 2017年3月期 JALUXグループ連結決算
- II. 2018年3月期連結業績予想
- III. 中期経営計画「Next Stage 2020」の進捗

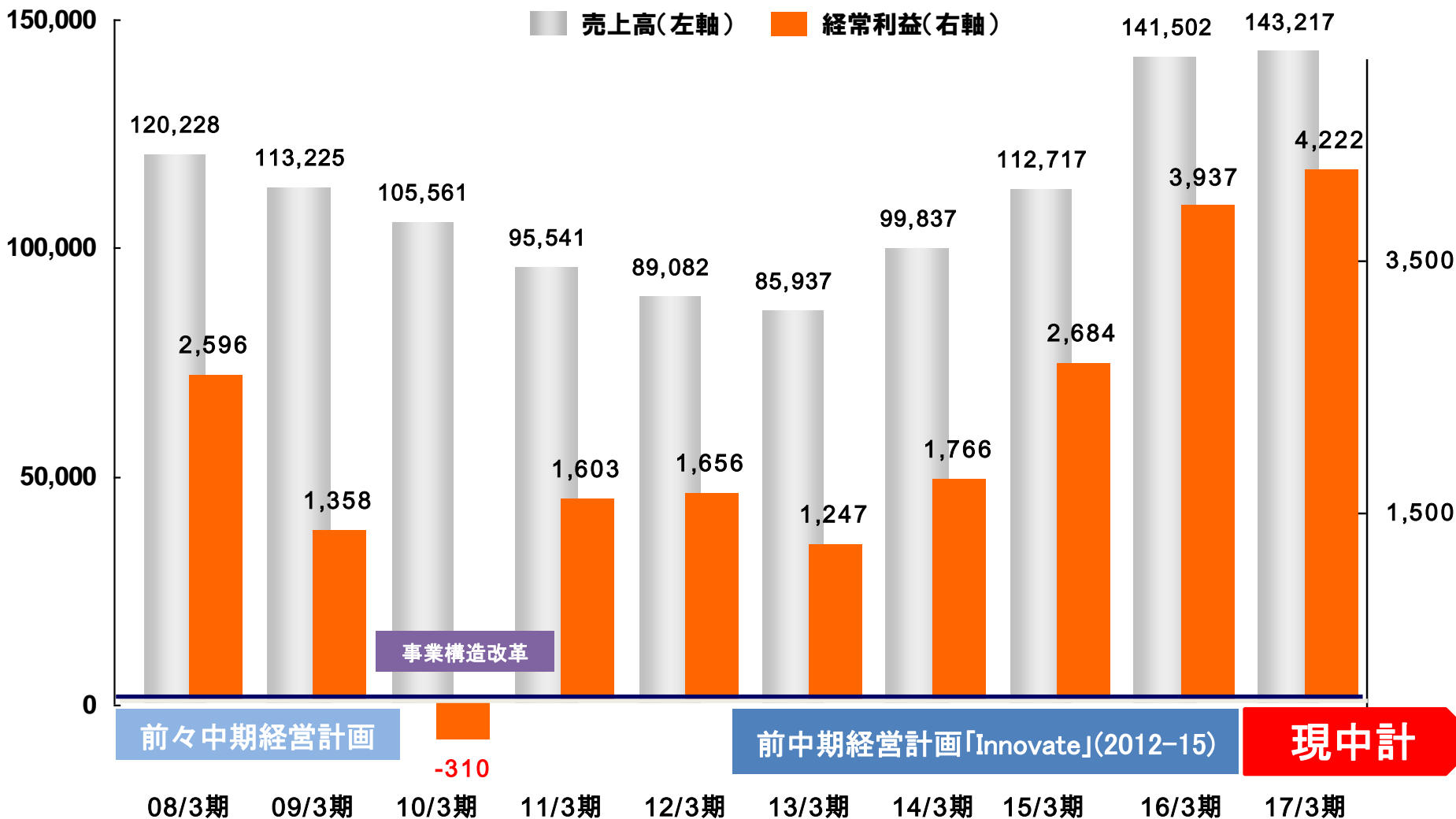
本資料についてのご注意

本資料はご参考資料であり、正確な決算数値等は当社決算短信および有価証券報告書・四半期報告書をご参照願います。また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、世界経済や為替変動等のリスク・不確定要素を含む様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おき願います。

I. 2017年3月期 JALUXグループ連結決算

連結年度業績推移

単位：百万円 Million yen



2017年3月期 決算概要

連結決算概要 *Consolidated Financial Summary*

対 前期
Compared to the previous period

□ 経営成績 *Income Statements*

単位:百万円 Million yen

	16年3月期 March. 2016	17年3月期 March. 2017	前期差	前期比
売上高 Net Sales	141,502	143,217	+1,715	101.2%
売上総利益 Gross Profit	22,881	23,369	+488	102.1%
販売管理費 SG&A	19,092	19,313	+221	101.2%
営業利益 Operating Income	3,789	4,056	+266	107.0%
営業外損益 Non-Op. Gains/Losses	147	166	+18	112.6%
経常利益 Ordinary Income	3,937	4,222	+285	107.3%
特別損益 Extraordinary Gains/Losses	△261	△67	+193	-
親会社株主に帰属する当期純利益 Net Income	2,014	2,572	+557	127.7%
売上総利益率	16.2	16.3	+ 0.1	
経常利益率	2.8	2.9	+0.2	

連結業績 期初予想比

期初予想比
Compared to pre-term projection

(対予想比)

単位:百万円 Million yen

	期初予想	17年3月期 March 2017	差額	予想比
売上高 Net Sales	150,000	143,217	△6,782	95.5%
営業利益 Operating Income	4,200	4,056	△143	96.6%
経常利益 Ordinary Income	4,300	4,222	△77	98.2%
親会社株主に帰属する当期純利益 Net Income	2,400	2,572	+172	107.2%
1株当たり当期純利益[EPS](円)	189.89	203.48	+13.58	7.2%

2017年3月期 決算概要

貸借対照表 Balance Sheet

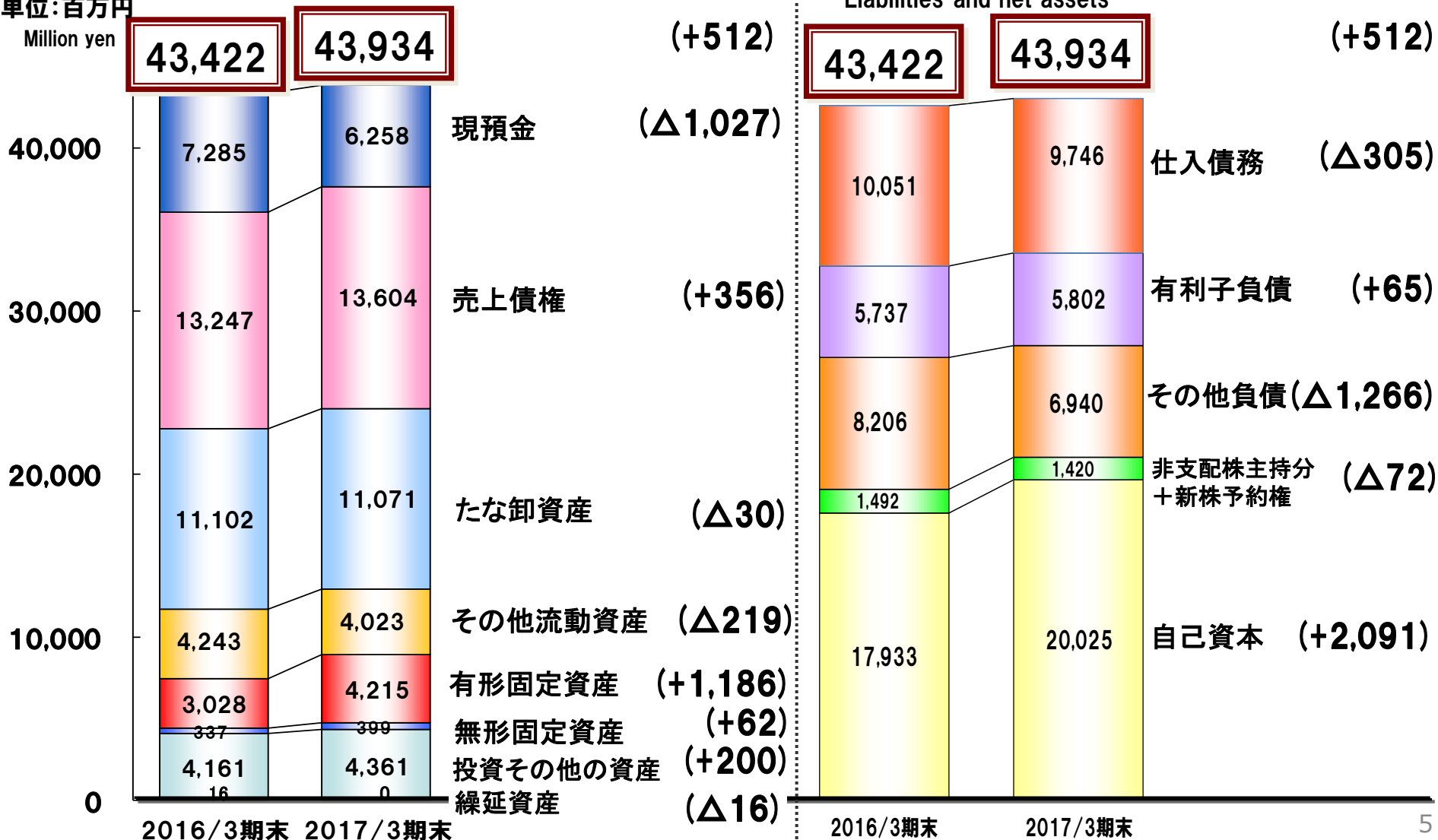
対前期
Compared to the previous period

【資産の部】 Assets

【負債・純資産の部】

Liabilities and net assets

単位:百万円
Million yen



財務状態 Consolidated Balance Sheets

対 前期
Compared to the previous period

単位:百万円 Million yen	16年3月期 March.31 2016	17年3月期 March.31 2017	前期差	前期比
	総資産 Assets	43,422	43,934	+512
自己資本 Shareholders' Equity	17,933	20,025	+2,091	111.7%
自己資本比率 Equity Ratio (%)	41.3	45.6	+4.3	
有利子負債残高 Interest Bearing Debt	5,737	5,802	+65	101.1%
D/Eレシオ(倍) Debt/Equity Ratio (times)	0.32	0.29	△0.03	

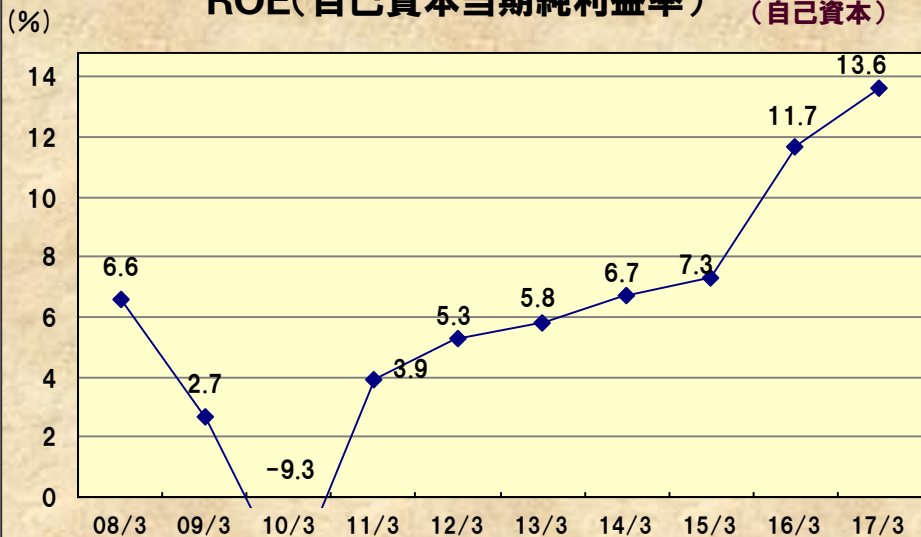
■ 連結キャッシュ・フロー概要 *Consolidated Summary of Cash Flow*

対 前期
Compared to the previous period

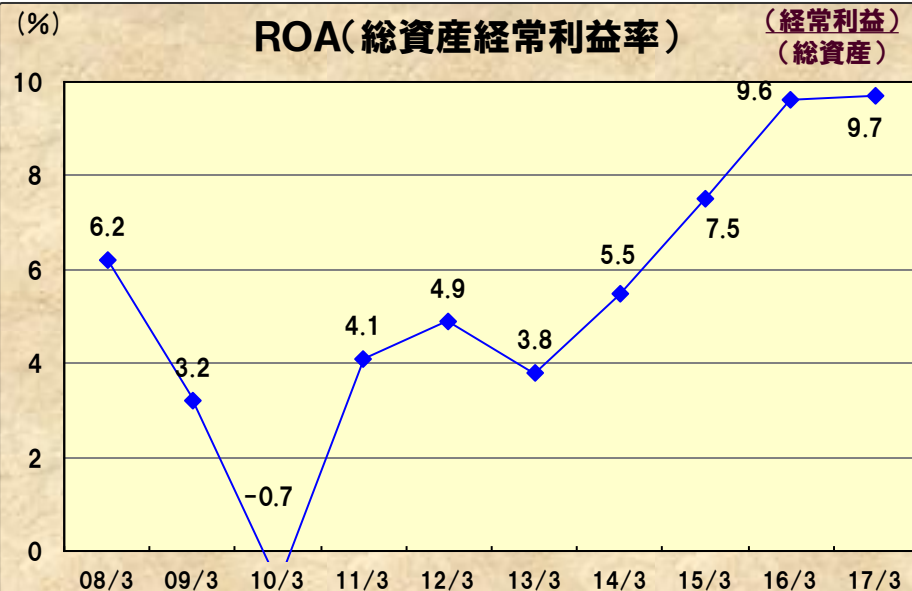
単位: 百万円 Million yen	16年3月期 March 2016	17年3月期 March 2017	前期差
営業キャッシュ・フロー Net Cash from Operating Activities	3,100	2,906	△ 194
投資キャッシュ・フロー Net Cash from Investing Activities	△ 1,335	△ 2,936	△ 1,600
財務キャッシュ・フロー Net Cash from Financing Activities	△ 10	△ 948	△ 938
フリーキャッシュフロー Free Cash Flow	+1,765	△ 29	△ 1,795

各種指標の推移

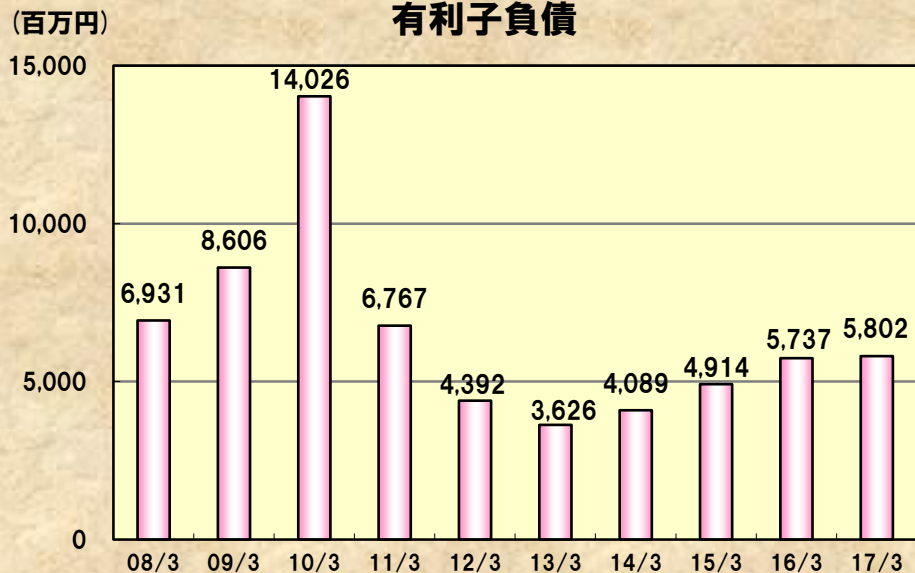
ROE(自己資本当期純利益率) (当期純利益)
(自己資本)



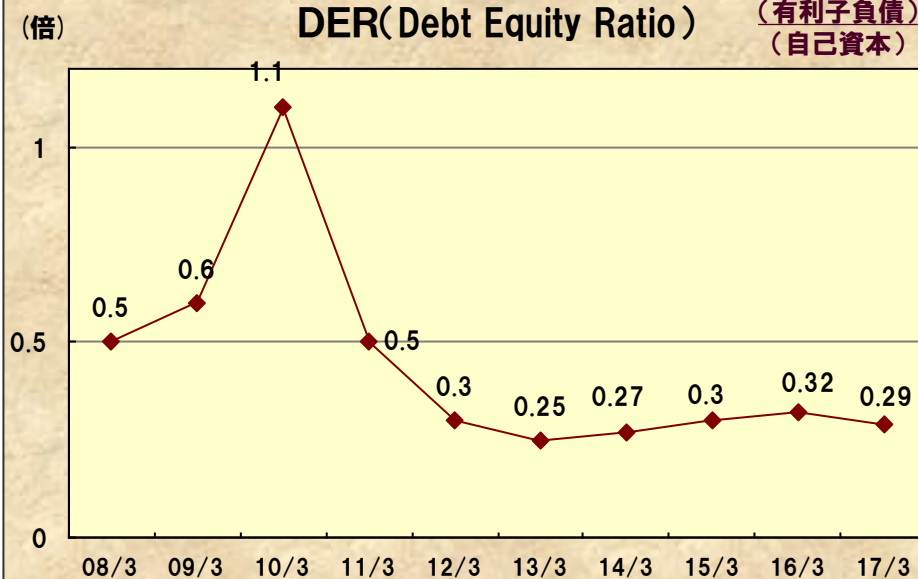
ROA(総資産経常利益率) (経常利益)
(総資産)



有利子負債

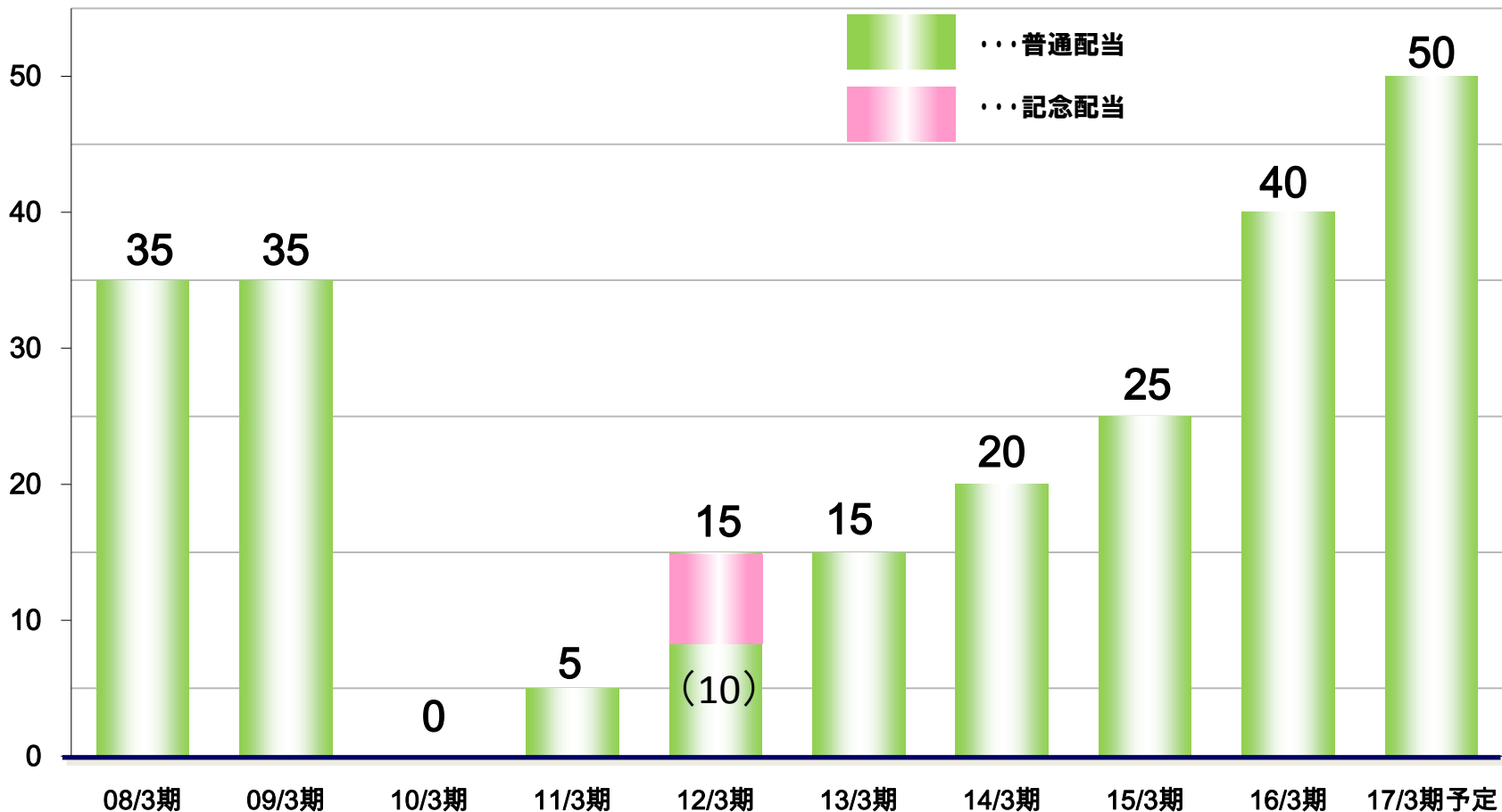


DER(Debt Equity Ratio) (有利子負債)
(自己資本)



配当推移

単位:円(1株当たり)



セグメント別の概況

Performance per Operating Segment

2017年3月期 決算概要～セグメント概況～

セグメント別実績 *Results per Segment*

対 前期
Compared to the previous period

売上高 Net Sales

単位:百万円 Million yen

	16年3月期 March. 2016	17年3月期 March. 2017	前期差	前期比
航空・空港関連 Aviation & Airport	58,751	57,275	△1,475	97.5%
ライフサービス Life Service	7,036	7,809	+773	111.0%
リテール Retail	46,187	46,408	+221	100.5%
フーズ・ビバレッジ Food & Beverage	30,514	32,843	+2,328	107.6%
全社及び消去 Eliminations	△986	△1,119		
合計(連結) Total	141,502	143,217	+1,715	101.2%

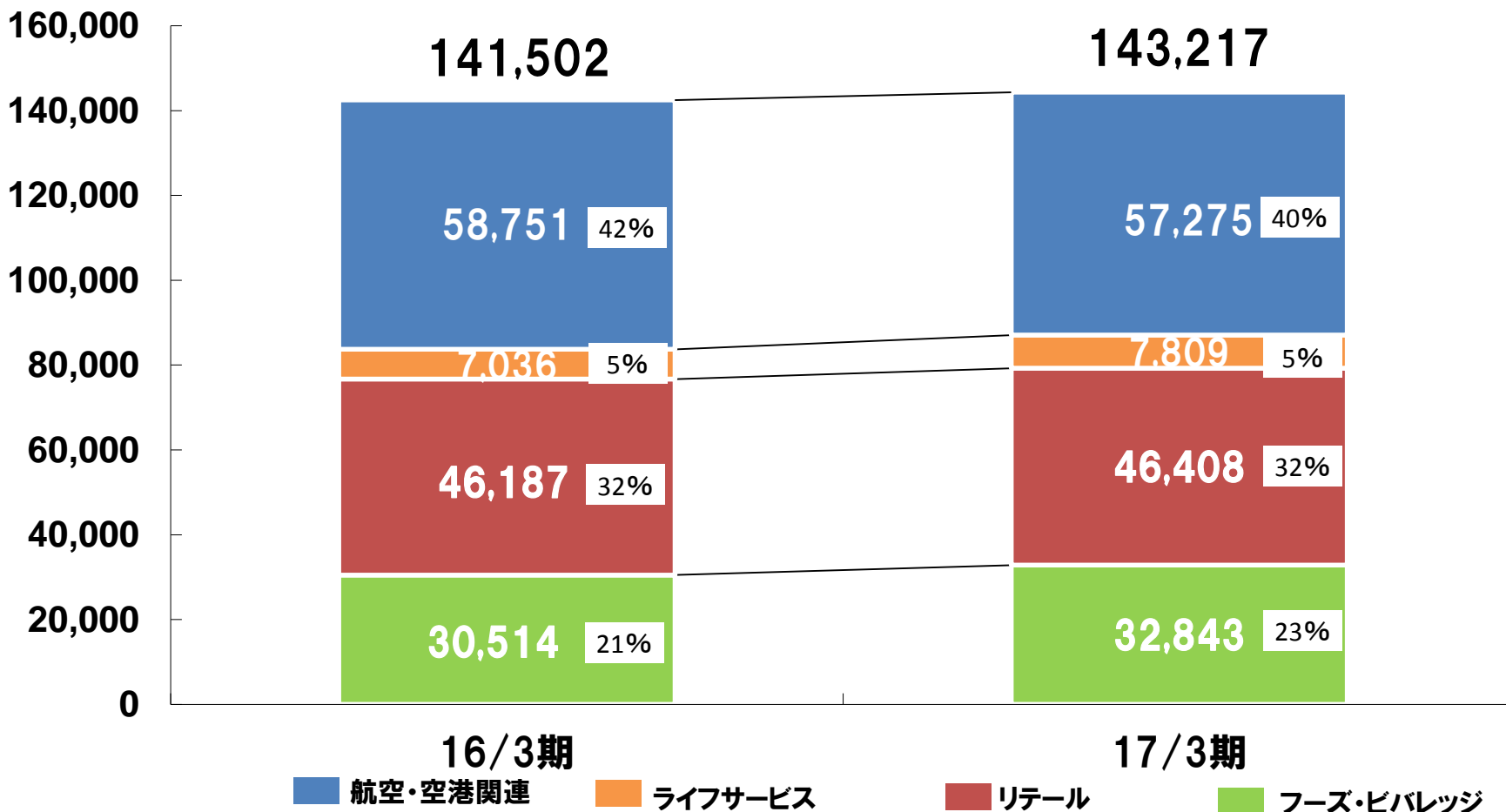
※各セグメントごとの内訳は、内部取引消去前金額です。

■ セグメント別 売上高

対 前期
Compared to the previous period

単位：百万円
Million yen

(各セグメントごとの内訳は、内部取引消去前金額)



[セグメント] ・名称を変更しています。

・2017年3月期からのセグメント間の事業の組み替えにより、16/3期数値を組み替えています。

2017年3月期 決算概要～セグメント概況～

対 前期
Compared to the previous period

セグメント別業績

単位：百万円 Million yen, %

《セグメント別の内訳》		16/3期 March. 2016	17/3期 March. 2017	前期差	前期比
航空・空港事業	売上高	58,751	57,275	△1,475	97.5
	営業利益	1,258	1,136	△122	90.3
ライフサービス事業	売上高	7,036	7,809	+773	111.0
	営業利益	817	933	+116	114.2

Remark

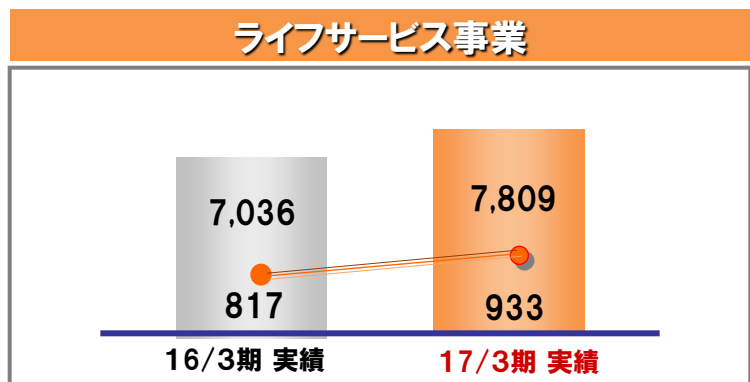
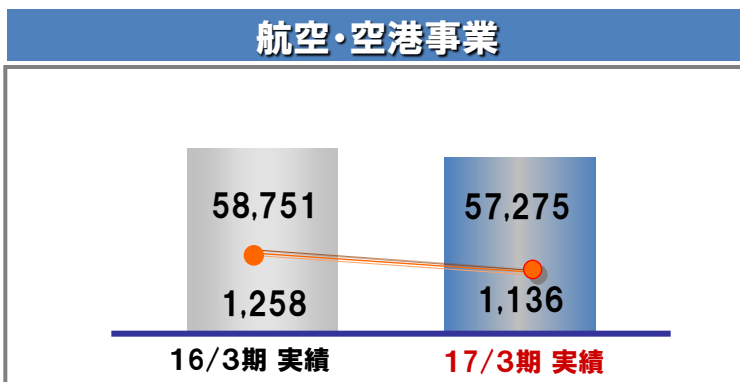
[航空・空港事業]

- プラス要因**
- 航空機エンジン部品・中古航空機・整備用機材販売増加
- マイナス要因**
- 産業用ガスタービン部品販売減少
 - 前2Q航空エンジン販売反動減

[ライフサービス事業]

- プラス要因**
- 事業用不動産販売増加
 - 保険代理店BPO業務拡大
 - 環境配慮型道路舗装材装置販売増加
- * 海外不動産開発事業の初期費用発生
* 道路補修材販売体制強化に伴う費用発生

※各セグメントごとの内訳は、内部取引消去前金額です。



2017年3月期 決算概要～セグメント概況～

対 前期

Compared to the previous period

セグメント別業績

単位：百万円 Million yen, %

《セグメント別の内訳》

		16/3期 March. 2016	17/3期 March. 2017	前期差	前期比
リテール 事業	売上高	46,187	46,408	+221	100.5
	営業利益	2,978	2,369	△608	79.6
フーズ・ビバレッジ 事業	売上高	30,514	32,843	+2,328	107.6
	営業利益	668	1,545	+876	231.2

Remark

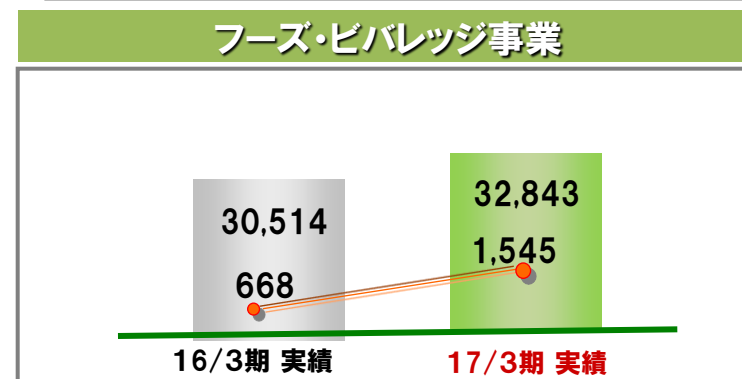
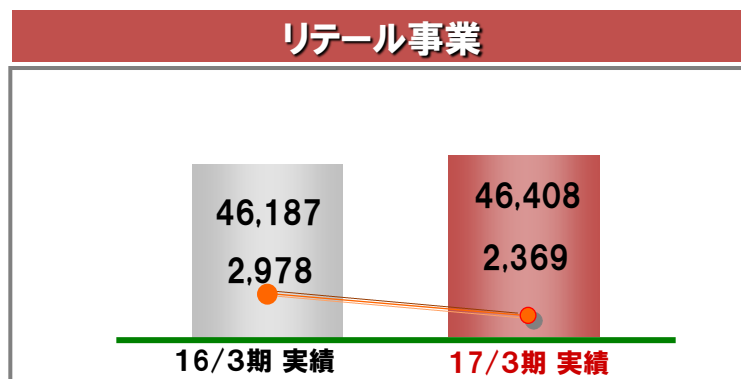
[リテール事業]

- プラス要因**
- ・空港店舗販売増加・海外空港免税店舗伸張
- マイナス要因**
- ・訪日外国人の消費動向変化による空港免税店舗販売・卸販売低調
 - ・通信販売低調
 - ・外食店舗(開業)運営費用発生

[フーズ・ビバレッジ事業]

- プラス要因**
- ・水産物加工品販売増加
 - ・輸入野菜、新規商品販売増加
 - ・贈答用食品販売増加
 - ・ブランド力のあるワイン業務用卸販売増加
 - ・菓子類販売増加

※各セグメントごとの内訳は、内部取引消去前金額です。



II . 2018年3月期 連結業績予想

連結業績予想(公表数値)

Outlook for Year Ending March 2018

当期予想
FY2017 (E)

(対前年実績)

単位:百万円 Million yen

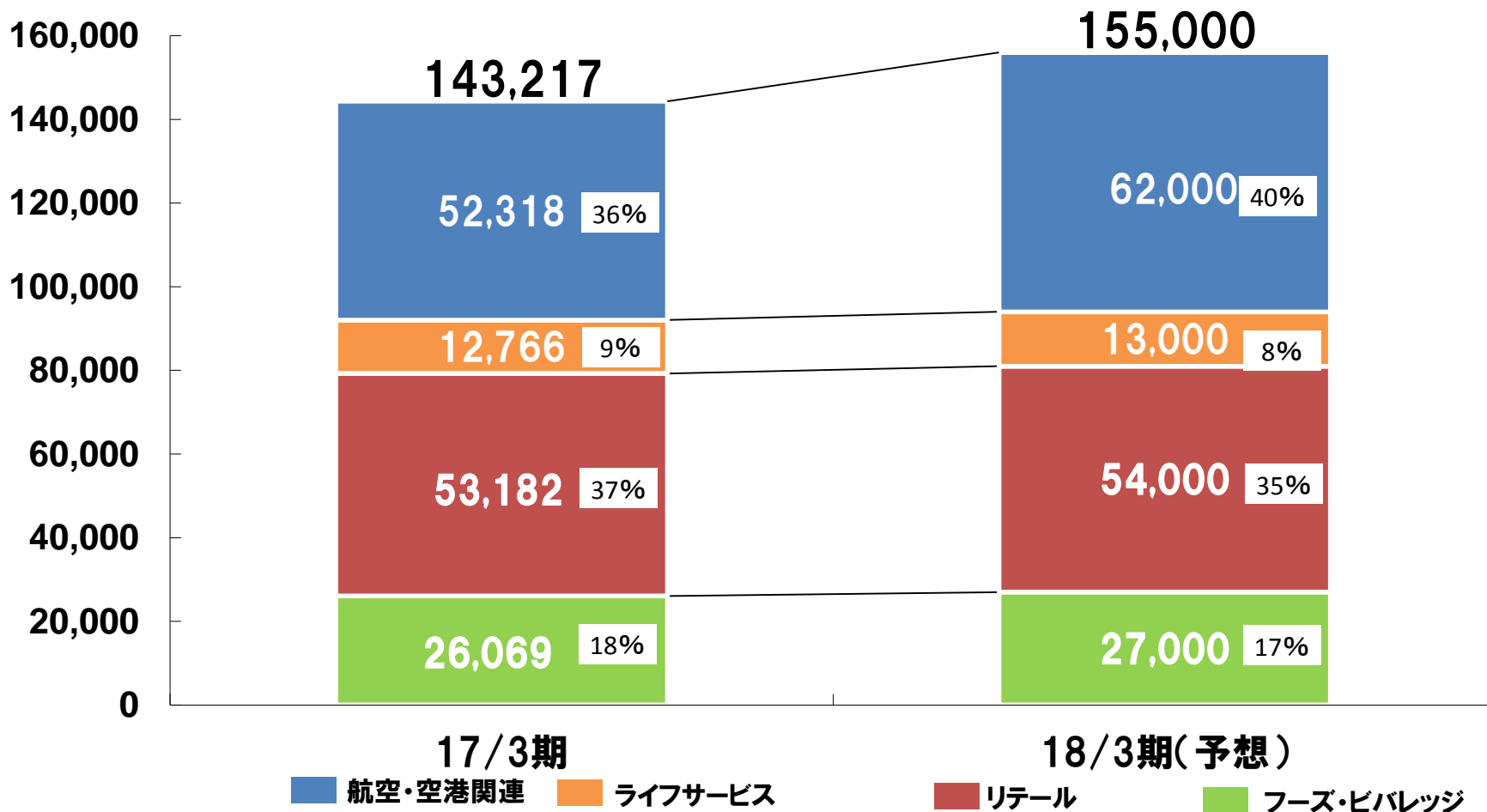
	17年3月期 実績 March 2017	18年3月期 予想 March 2018 (E)	前期差	前期比
売上高 Net Sales	143,217	155,000	+11,782	108.2%
営業利益 Operating Income	4,056	4,400	+343	108.5%
経常利益 Ordinary Income	4,222	4,600	+377	108.9%
親会社株主に帰属する当期純利益 Net Income	2,572	2,700	+127	105.0%
親会社株主に帰属する1株当たり当期純利益 [EPS](円)	203.48	213.56	+10.08	105.0%

■ セグメント別 売上高

当期予想
FY2017(E)

単位:百万円
Million yen

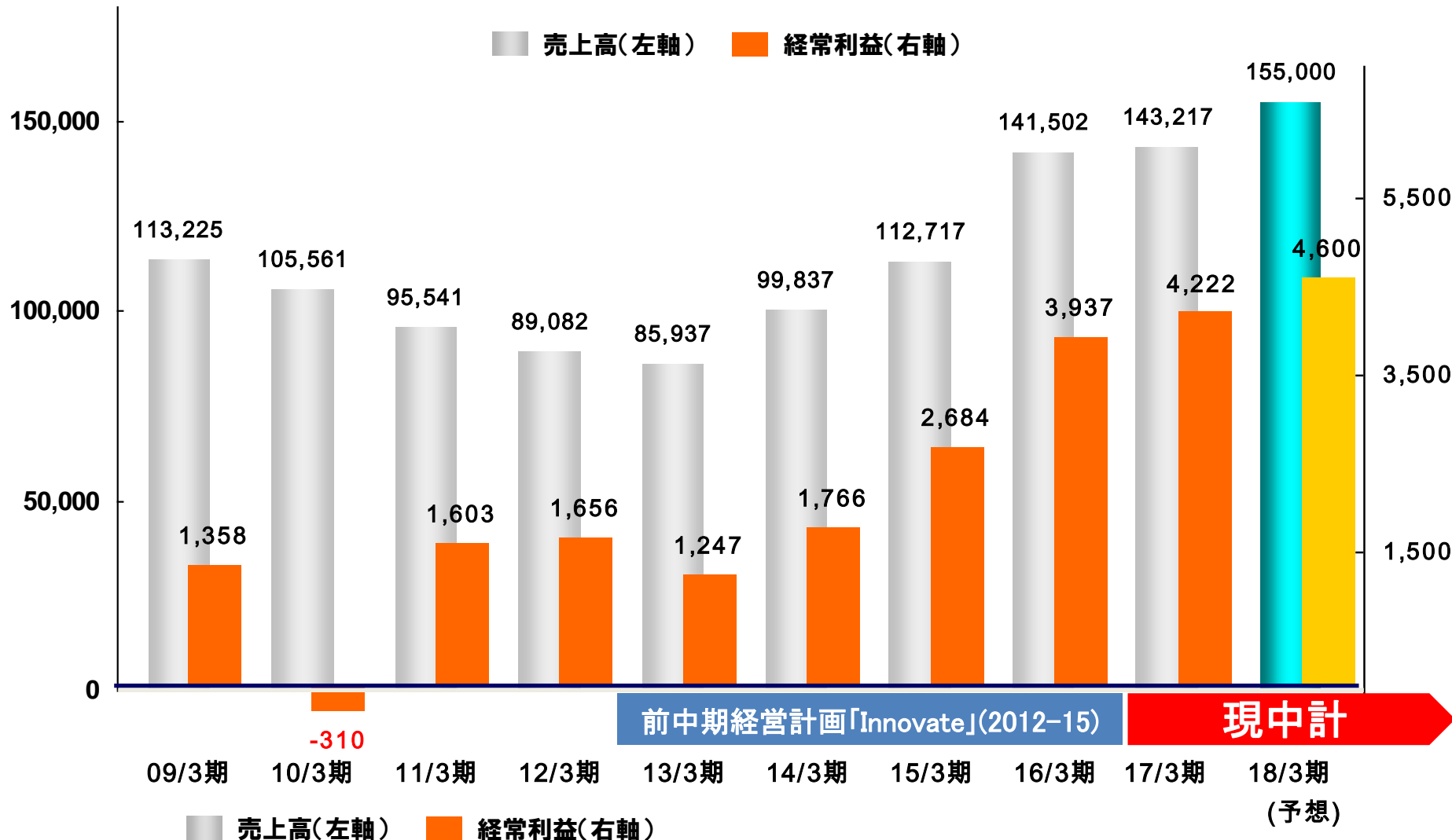
(各セグメントごとの内訳は、内部取引消去前金額)



[セグメント] ・2018年3月期からのセグメント間の事業の組み替えにより、17/3期数値を組み替えています。

連結年度業績推移

単位:百万円 Million yen



Ⅲ. 中期経営計画「Next Stage 2020」の進捗

企業理念

幸せづくりのパートナー

～人に社会に環境にもっと豊かな輝きを～

企業文化

“Challenge & Change”

環境の変化をいち早く捉え、
新たな領域を切り拓いて自らを進化させていく

事業 コンセプト

航空分野で培われた「安心」「安全」を礎として、
高品質で独自性のある事業・商品・サービスを創造する。

外部環境

- 航空需要増・航空産業拡大
- 規制緩和・インバウンド需要増
- 消費市場の細分化
- 国内人口減、世帯構造変化
- アジア各国の経済成長

内部環境

- 既存事業収益の回復・拡大
- 海外・戦略拠点の活動本格化
- コア事業創出に向けた取組み推進
- 健全な財務状態維持・投資余力確保

【長期ビジョンの策定】

2030年に向けたJALUXグループが将来目指す姿

中期経営計画「Next Stage 2020」

持続的成長への新たな挑戦

～航空・空港分野に独自の強みを有するグローバルな企業集団へ～

<JALUXグループ 長期ビジョン>

世界中のパートナーとともに、『JALUX-VALUE』を創造するビジネスリーダー

<ミッション（2030年に向けた使命）>

- ①ステークホルダーが求めている価値はもとより、まだ気付いていない価値（新しい時代の新しい価値）をも創造し、**JALUXならではの感動**を生み出し続ける。
- ②『JALUX-VALUE』を創造する**戦略的パートナーとの相互発展**をアライアンスのリーダーとして牽引していく。
- ③JALUXグループの**各セグメントの力を結集**し、人・社会・環境の課題解決に挑み、豊かで輝きのある社会の実現に貢献していく。

長期ビジョン
(2030年に向けて)

世界中のパートナーとともに、『JALUX-VALUE』を
創造するビジネスリーダー

中期経営計画・
経営目標
(2020年に向けて)

持続的成長への新たな挑戦

～航空・空港分野に独自の強みを有するグローバルな企業集団へ～

連結経常利益80億円・ROE15%・ROA12%

重点戦略・
海外重点
エリア

1

収益基盤の拡大

2

新たなコア事業の創出と育成

3

事業ポートフォリオの最適化

海外重点
エリア

ASEAN域

米国

戦略推進の
基礎

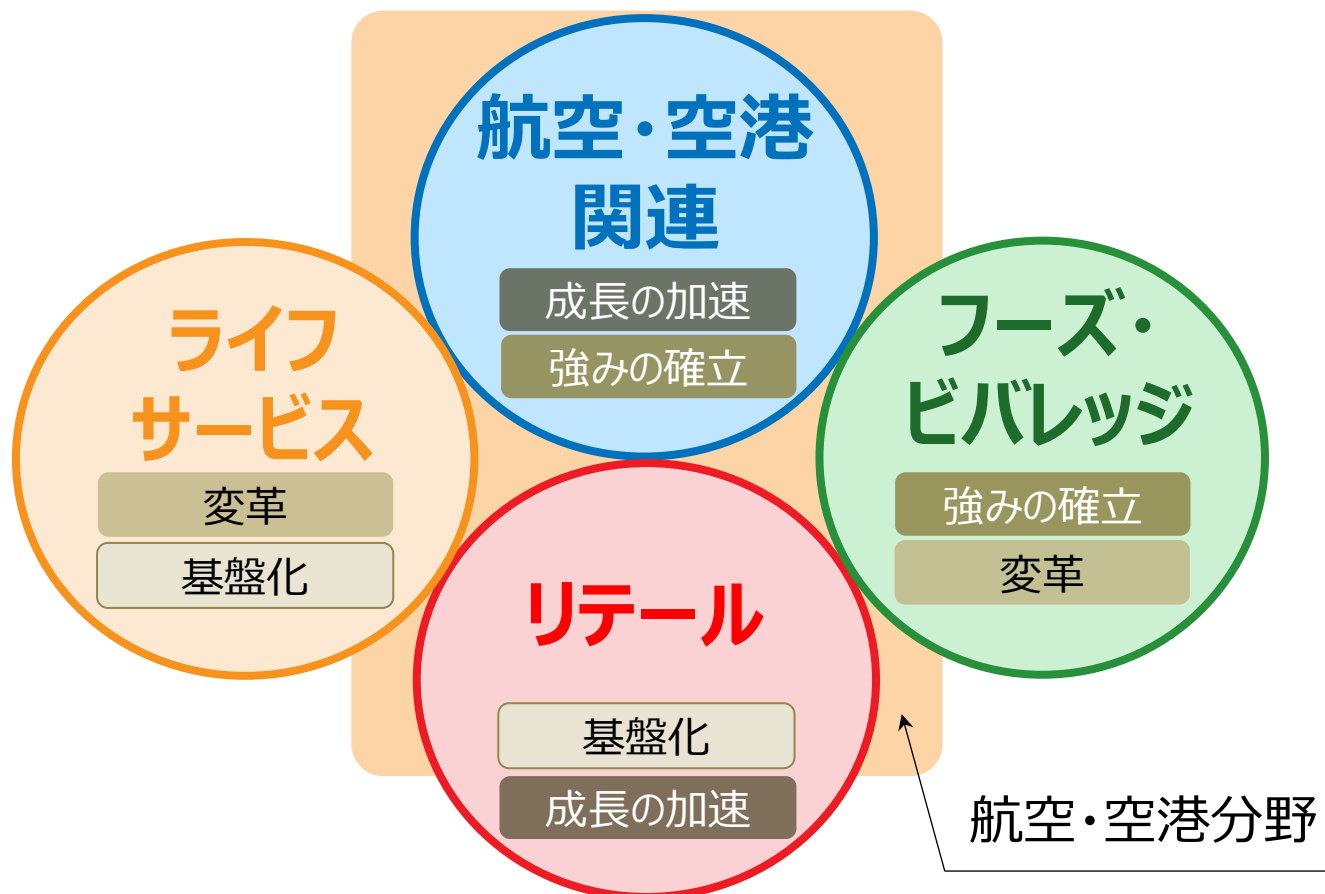
人材の育成と
組織力の強化

資金調達力と
財務の健全性
の確保

グループ経営
の深化

航空・空港関連事業領域を中心とした4領域で、環境変化・顧客ニーズを先取りして、個別事業を進化させると共に、領域間シナジーも深め、グループの持続的成長を目指す

事業領域（事業セグメント）と各領域の方向性のイメージ



FY2017より4事業本部体制を敷き、各事業セグメントにおける専門性を強化

【長期ビジョン】
世界中のパートナーとともに、『JALUX-VALUE』を創造するビジネスリーダー



Next Stage
2020

【中期経営計画】 持続的成長への新たな挑戦

～ 航空・空港分野に独自の強みを有する
グローバルな企業集団へ ～



事業方針

- 航空・空港でのニッチ市場を開拓し、大手企業にない競争優位性を確立
- 日本のエアラインで培った高品質な商品の供給・サービス提供を世界に拡大

重点施策

成長の
加速

強みの
確立

国内・海外拠点
の連携強化

航空関連アセット
ビジネスへの展開

空港運営事業と
周辺ビジネスの拡大

セグメント利益

(共通経費配賦前営業利益)

(億円)



◆2020年度に向けた成長機会

- ・民間航空機の需要増大
- ・整備市場規模の拡大
- ・空港民営化（国内外）の流れ

◆今後の課題

- ・部品事業を核とした周辺ビジネスの拡大

①国内・海外拠点の連携強化

- 名古屋中京地区、西日本地区での航空機部品事業の拡大
- 日本、米州、欧州、シンガポール拠点の連携強化
- ASEAN域内における整備事業への取組み



②航空関連アセットビジネスへの展開

- 航空機及びエンジンリース事業の拡大
- 航空機及びエンジン売買に関する仲介事業



③空港運営事業と周辺ビジネスの拡大

- 既存運営2空港（ビエンチャン、マダレー）での資機材事業拡大
- 新たな空港運営参画に向けた検討



事業方針

- 実業を通じて、社会の発展や暮らしの質（QOL）の向上に貢献
- 専門性を高めた専業子会社をもって機動的な事業運営を実現

重点施策

変革

基盤化

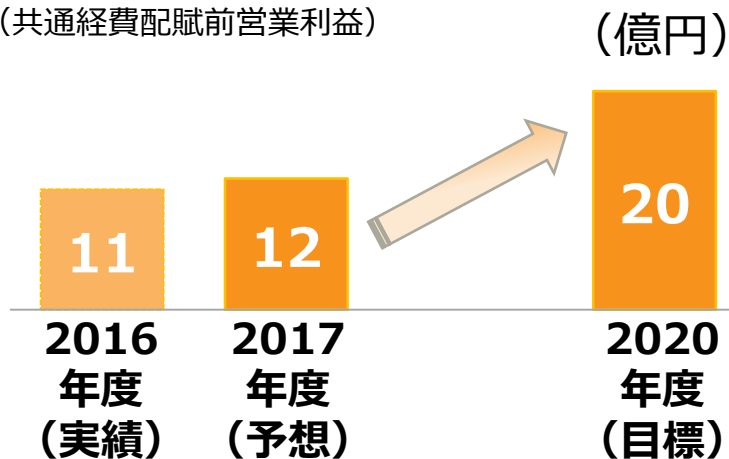
空港周辺不動産開発
シニア向け事業の推進

保険事業の深耕と
拡幅

環境配慮型資機材の
製造・販売強化

セグメント利益

(共通経費配賦前営業利益)



◆2020年度に向けた成長機会

- ・空港周辺不動産の需要拡大
- ・高齢者向け住宅の需要増加、多様化
- ・環境に配慮した商品ニーズの拡大

◆今後の課題

- ・新規事業の収益安定化

① 空港周辺不動産開発・シニア向け事業の推進

- 空港沿線を中心とした不動産事業の幅だし
- サービス付アパートメントの開発・運営
- シニア向け住宅・施設の開発・運営



Solcias
ソルシアス 上用賀
すべての人に希望あふれる明日を



② 保険事業の深耕と拡幅

- BPO事業における提携モデルの拡幅と差別化

※BPO(Business Process Outsourcing)事業：個人向け保険業務の一環である顧客サービス業務（契約手続きやコールセンター業務など）の一部を受託する事業。

③ 環境配慮型資機材の製造・販売強化

- 米州におけるAQUA PATCH販売網の構築と他地域への横展開
- AQUA BLACKの販売体制強化と海外展開



※AQUA PATCH：水をかけると固まる道路補修材。

※AQUA BLACK：中温化アスファルト合材プラント設備。

事業方針

- Made in/by JAPAN商材の開発・世界発信（海外店舗展開等）
- 顧客層の変化を先読みした商品開発・商品ポートフォリオの最適化

重点施策

基盤化

成長の
加速

多様な顧客ニーズに応える
商品力・サービスの向上

海外リテール店舗
の展開

オリジナル商品の企画開発
とブランディング

セグメント利益

(共通経費配賦前営業利益)

(億円)



◆2020年度に向けた成長機会

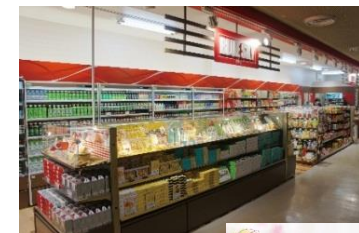
- ・航空旅客需要の増加
- ・インバウンド市場の伸長
- ・ASEAN諸国における経済成長

◆今後の課題

- ・多様化する消費者ニーズへの対応

① 多様な顧客ニーズに応える商品力・サービスの向上

- ICT活用による販売・MD力の強化
- 「トラベル」、「グルメ」をテーマにしたコンテンツの構築
- ブランド菓子やオリジナルスイーツなどの国内直営店舗展開



② 海外リテール店舗の展開

- ASEAN域内における免税店舗展開



③ オリジナル商品の企画開発とブランディング

- 提携工場やグループ内連携によるオリジナル商品の企画・製造体制の強化
- 「TABITUS」などのオリジナル商品のブランディング推進



事業方針と重点施策：フーズ・ビバレッジセグメント

事業方針

- 「世界の食文化を日本へ、日本の食文化を世界へ」のコンセプトのもと商品開発・商材発掘を推進
- 加工・製造分野の強化によるバリューチェーンの拡大

重点施策

強みの
確立

変革

世界中のより良い商材
の国内輸入販売拡大

高付加価値商品の
海外輸出展開

加工・製造分野強化

セグメント利益

(共通経費配賦前営業利益)

(億円)



◆2020年度に向けた成長機会

- ・日本食ブームの到来
- ・農林水産物、食品の輸出拡大
- ・食の安全・安心に対する意識の高まり

◆今後の課題

- ・商品開発力の強化

①世界中のより良い商材の国内輸入販売拡大

- 評価の高いワインリストの構築と販売強化
- バリューチェーンによる農産事業の拡大



②高付加価値商品の海外輸出展開

- 日本製造の良質な酒類（日本酒・焼酎）の海外輸出
- 国内鮮魚の海外市場への輸出販売



③加工・製造分野強化

- 加工度の高い水産加工品の開発
- 信頼・安全・安心を基軸としたブランド商品の開発



2020年度 数値目標

2016
年度実績



2017
年度予想



2020
年度目標

連結経常利益

42億円

46億円

80億円

ROE

(自己資本当期純利益率)

13.6%

13.7%

15.0%

ROA

(総資産経常利益率)

9.7%

10.0%

12.0%

(参考)

連結売上高

1,432億円

1,550億円

2,000億円

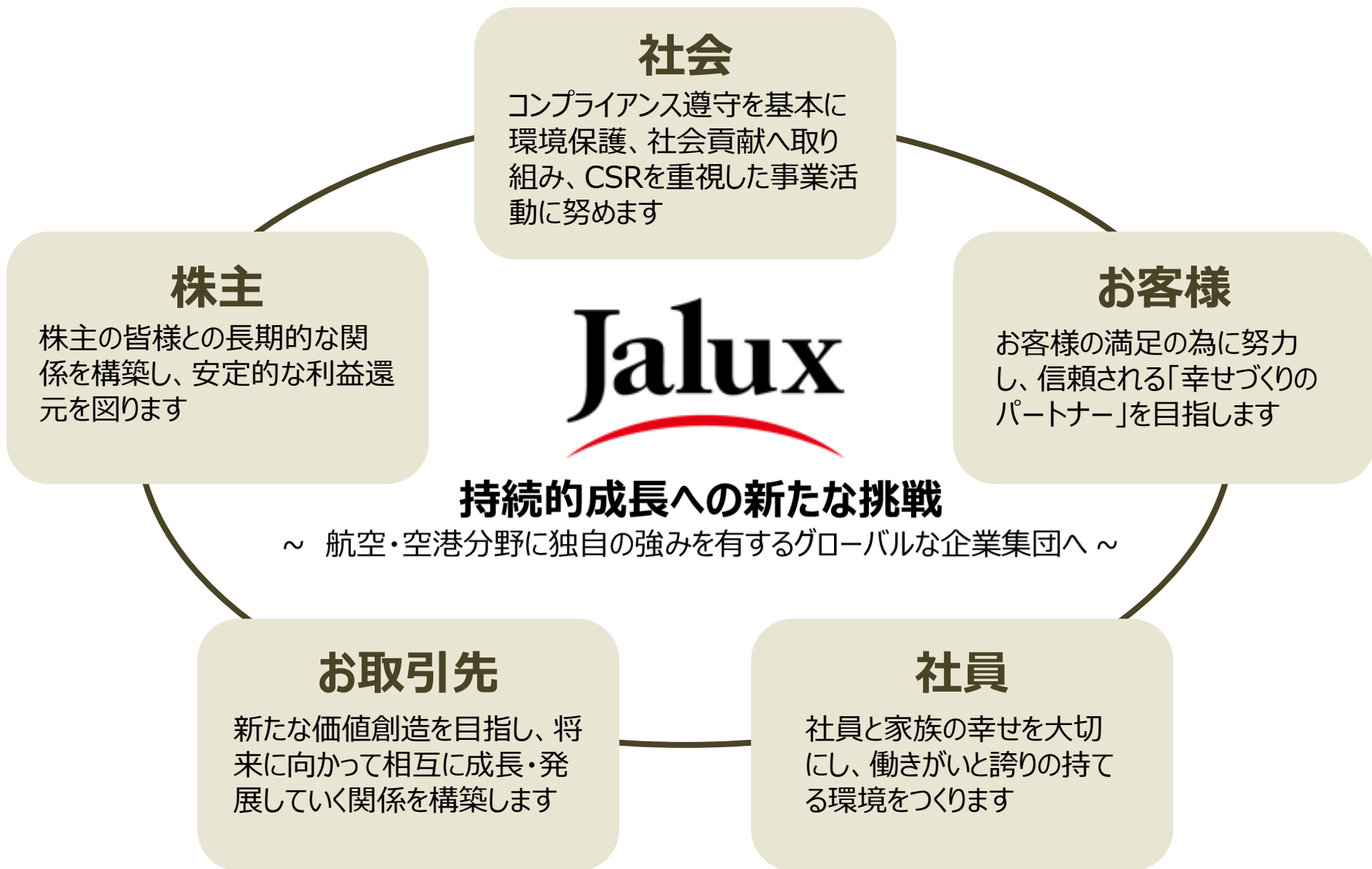
セグメント利益*

60億円

64億円

105億円

*セグメント利益：共通経費配賦前営業利益合算値



会社概要 (2017年3月31日現在)

● =連結子会社 Consolidated subsidiary



	商号 Trade name	株式会社JALUX(ジャルックス)【英文名 JALUX Inc.】	
	証券コード Stock code	2729(東証1部)	TSE 1st
	設立 Established	1962年(昭和37年)3月28日	March 28, 1962
	資本金 Capitalization	25億5,855万円	¥ 2,558,550,000
	事業年度 Fiscal year	毎年4月1日から翌年3月31日まで	April 1 to March 31
	従業員数 Number of employees	2,437名(連結子会社 2,055名を含む)	(Including 2,055 consolidated subsidiaries)
	国内空港店 Domestic airport shops	新千歳、羽田、成田、関西、福岡など27空港89店舗 (BLUE SKY 78店舗、JAL-DFS 11店舗) 89 shops in 27 airports (78“BLUE SKY” Shops and 11“JAL-DFS” Shops)	
	国内関連企業 Domestic affiliates	<ul style="list-style-type: none"> ● (株)JALUXエアポート(空港店舗運営業務) ● (株)JAL-DFS(免税品販売) ● (株)JALUX保険サービス(保険事業) ● (株)JALUXフレッシュフーズ(農産品販売) ● (株)JALUXトラスト(不動産管理業、シニア事業) ● 日本エアポートデリカ(株)(食料品製造業) ● グレンフィールド(株)(雑貨類企画開発、輸入販売業) ● グレンチェック(株)(雑貨類輸入販売業、通信販売業) ● (株)ティエリー・マルクス・ジャパン(レストラン運営事業) 	<ul style="list-style-type: none"> ● JALUX Airport Inc. (Airport shop management business) ● JAL-DFS Co., Ltd. (Duty-free sales) ● JALUX Insurance and Service Inc. (Insurance business) ● JALUX Fresh Foods, Inc. (Fruit and Vegetable sales) ● JALUX Trust Inc. (Real Estate management business) ● Japan Airport Delica Inc. (Food Manufacturer) ● Glenfield ● Glencheck ● THIERRY MARX JAPAN INC.
	海外関連企業 Overseas affiliates	<ul style="list-style-type: none"> ● JALUX AMERICAS, Inc.(ロサンゼルス) ● JALUX ASIA Ltd.(バンコク) ● JALUX SHANGHAI Co., Ltd.(上海) ● JALUX SINGAPORE TPE LTD.(シンガポール) ● Taniyama Siam Co., Ltd.(バンコク) ● Advance Agriculture Co., Ltd.(ラオス) ● Aqua Patch Road Materials, L.L.C.(ロサンゼルス) ● JRE Development Co., Ltd.(バンコク) ● JALUX TASECO DUTY FREE CO., LTD.(ハノイ) 	<ul style="list-style-type: none"> ● (Los Angeles) ● (Bangkok) ● (Shanghai) ● (Singapore) ● (Bangkok) ● (Laos) ● (Los Angeles) ● (Bangkok) ● (Hanoi)